

# バングラデシュで炭疽が流行

2010年9月15日 ProMED 情報

(iStockAnalyst/Xinhua News Agency、BDnews24.com、IrinNews)



8月18日に最初の患者が発生した以降、9月14日現在、炭疽患者発生がバングラデシュの全64地区のおよそ1/6にあたる10地区に拡大しています。同国疫学疾病管理機関(IEDCR)によれば、前日からの24時間以内に確認された13名を加え、感染者数は合計508名となりました。

炭疽の急速な拡大により、同政府は先週、同国全体に非常事態を宣言し、64地区すべてに炭疽に対する予防と治療対策のための委員会を設立しました。

ほとんどすべての患者は皮膚炭疽ですが、感染する前に炭疽菌に感染した動物と接触したか感染した動物の肉を食べたということです。

8月13日、炭疽は首都 Dhaka ダッカに近づいています。首都から南へ約20kmに位置するナラヤンガンジ Narayanganji では、9名の感染者が発生しました。

バングラデシュ政府は、家畜用の炭疽菌ワクチンの供給は現在十分であるといっています。同政府は市民に感染した牛肉を食べたりしないこと、また、牛取引業者が感染した動物を処分する時、不注意により病気を拡大しないよう広く広報活動を開始しました。